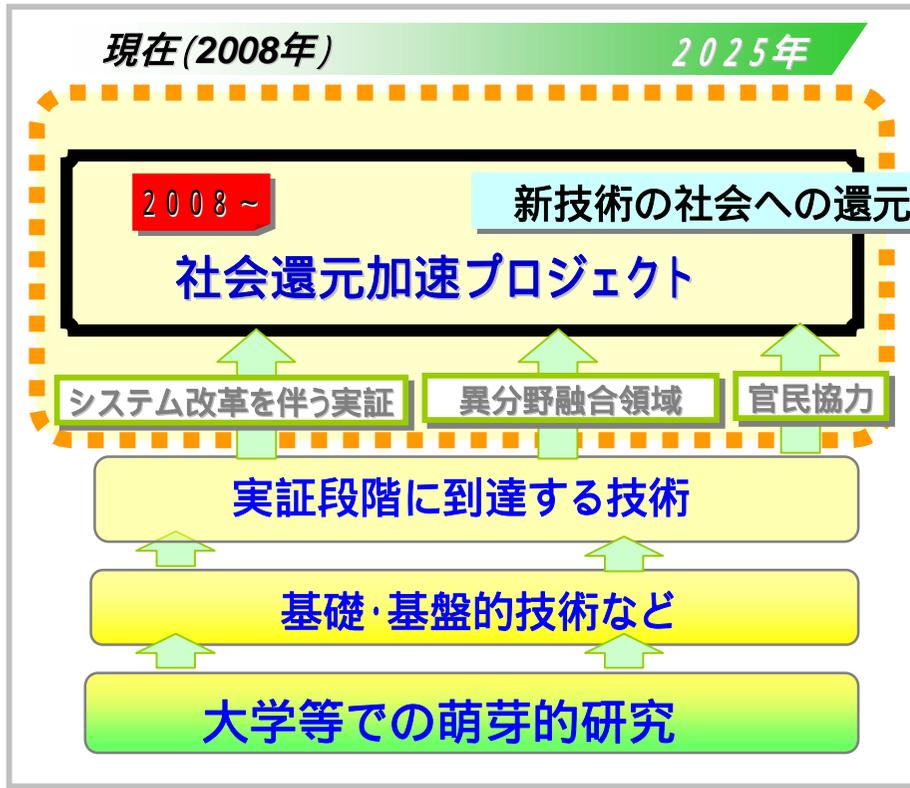


# 社会還元加速プロジェクト

要素技術を融合し、実証研究を通して成果の社会還元を加速する先駆的なモデルプロジェクト

## 施策の概要



### 1. 生涯健康な社会

・失われた人体機能を再生する医療

### 2. 安全・安心な社会

・国民一人一人が必要な情報を一元的に受け取ることが可能な災害情報通信システム  
・交通事故の激減、環境負荷(CO<sub>2</sub>排出)低減、生産性向上に寄与する高度交通システム

### 3. 多様な人生を送れる社会

・高齢者・有病者・障害者への在宅医療・介護の支援

### 4. 世界的課題解決に貢献する社会

・食料問題への影響を回避し、環境・エネルギー問題に貢献するバイオマス資源の総合利活用

### 5. 世界に開かれた社会

・言語の壁を乗り越える音声コミュニケーション技術

- ・各プロジェクト毎にロードマップを策定（平成20年5月総合科学技術会議本会議報告）
- ・当該ロードマップに沿って、着実にプロジェクトを進め、社会への還元を加速

# 科学技術による地域活性化 1. 現状

## 地域科学技術施策の成果

### 知的クラスター創成事業

- 特許出願件数2,230件
- 事業化件数803件

### 産業クラスター計画

- 5万件の新事業創出
- 800件の創業
- クラスター参画企業1社当たり平均売上高の増加  
(H12年度:32億円 H17年度:36億円)

### 地域科学技術クラスター連携施策群

- 8府省17施策の連携強化

## 課題

一定の成果を上げてはいるが

試作した技術を事業化する主体が地域内に存在しない。  
開発した先端的な技術の市場が開拓できない。  
地域科学技術施策の相乗効果が発揮されていない。

### 人材

- ・優秀なコーディネーター人材の不足
- ・研究・開発人材の不足(流出)

### 地域マネジメント

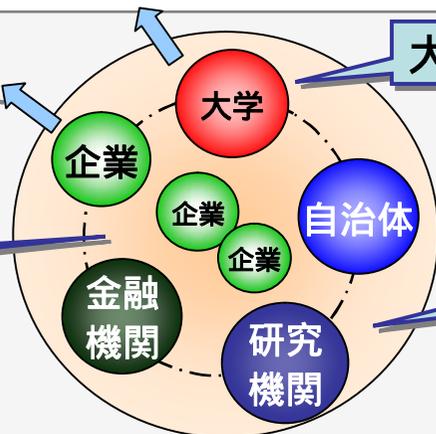
- ・大学、企業など、地域としての統一ビジョンがない

### 大学等の産学官連携

- ・大学の産学官連携機能が弱い
- ・イノベーション創出拠点形成が不十分
- ・事業化支援策が不十分

### 内外とのつながり力

- ・組織の枠を超えた地域内連携が不十分
- ・地域を超えた広域連携が不十分

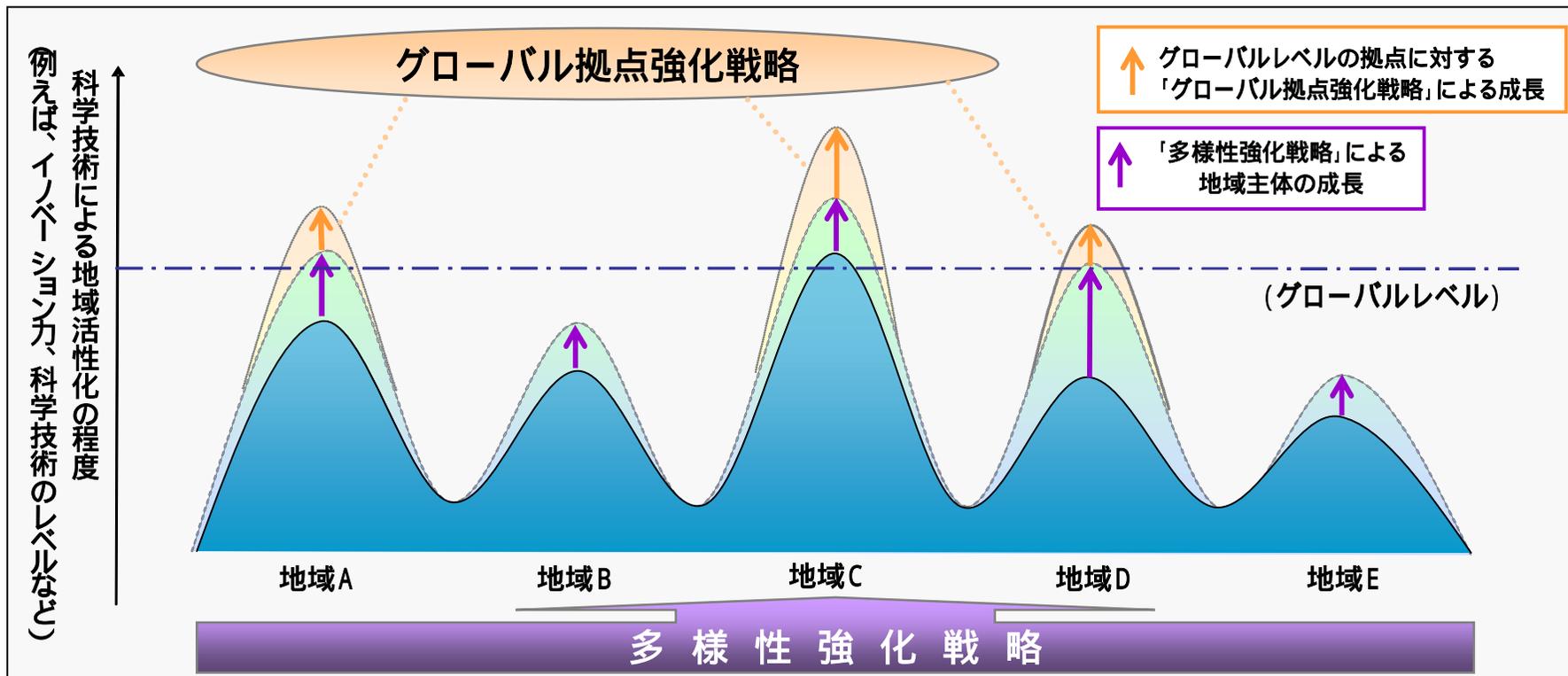


# 科学技術による地域活性化 2. 多様性・グローバル拠点強化

## 基本的視点

地域科学技術施策本来の目的である「地域の活性化」と、それによる「国の国際競争力強化」を効果的・効率的に達成するために、

1. 地域の独自性と国全体としての多様性の確保（**多様性強化戦略**）
2. 「グローバル科学技術拠点」候補への重点投資（**グローバル拠点強化戦略**）
3. 新しいビジョンとして地域拠点の「エコシステム形成」



# 科学技術による地域活性化 3. 地域拠点のエコシステム

新しいビジョンとして地域拠点の「エコシステム形成」

エコシステム: 植物、動物および微生物の群集とこれらを取り巻く非生物的な環境とが相互に作用し一つの機能的な単位を成す複合体に因んで命名。

